

ランキングマッチ 認定条件と注意事項

1 主旨

公益社団法人日本フェンシング協会（以下、「本会」という）が実施する選手育成強化の一環として、日本フェンシング界の競技力の向上を図り、国際大会において活躍が期待できる選手・審判員の発掘・育成と、スポーツを通じ人間力あふれる人材を輩出すること及び、都道府県支部（以下、「支部」という）と連携し円滑な競技会運営を図り、競技会の質の向上を目的とする。

2 大会名称

(1) 「ランキングマッチ」と明記すること。

以下の通り、公益社団法人日本フェンシング協会（以下本会という）の加盟支部団体（以下支部という）より申請された国内大会より審査の上、「ランキングマッチ」を認定する。

ア 認定を希望する支部は、対象となる大会の概要を開催要項と併せて期間内に本会へ申請するものとする。

イ 認定した大会に対し、「ランキングマッチ」の名称を付与する。

ウ 大会終了後、当該支部は大会報告書（報告書、決算書）を本会へ提出する。

3 本会名義

支部による主催となり、本会は共催とする。

実施要項に本会を「共催」として明記すること。

※認定後、別途認定大会に関する名義等規程をお知らせいたします。

4 ランキングマッチ認定・実施条件

(1) 本会の定める規程およびFIE競技規程に基づき運営する。

(2) シニア・ジュニア・カデともに全種目3大会とする。

(3) シニア・ジュニア・カデともに出場人数が最低50名より認定大会とする。

(4) 1日の競技会参加者数は160名を上限とする。それを上回る場合は2日以上の実施を原則とする。

(5) ランキングマッチの参加費は8,000円で全カテゴリー統一とする。

- (6) 競技会運営は最低 8 ピストを確保すること。
- (7) プール戦は原則 7 名で進行すること（場合により 6 名で調整もあり）
- (8) トーナメント戦は予備戦含め原則 15 本勝負とする。※参加人数が多いから 10 本勝負に変更は認めない。
- (9) フロアがコンクリートの場合はアルミピストのみを使用し、ハイブリッドピストの直置きは不可。やむを得ずハイブリッドピストになる場合は必ずクッション材を敷き、競技者の安全を確保したうえで運営に努めること。
- (10) 審判長・審判員の派遣については、本会ルール審判委員会に依頼を必須とする（別途「審判派遣申請」）
- (11) 認定申請にあたり、必ず開催支部の代表者の承認を得ていること。
- (12) 認定申請時、直近の大会決算書の提出を必須とする。決算書の提出がない場合、次年度の応募を不可とする。
- (13) スポーツ傷害保険に加入していること。
- (14) 開催地で DT（運営オペレーション）の体制が確保されていること。
- (15) スポーツドクター 1 名の常駐を原則とする。※競技ルールを理解している方が望ましい。
- (16) スポーツドクターの配置について、開催県支部で調整もしくは本会医・科学委員会への依頼いずれでも可とする。※本会に依頼する場合は別途「ドクター派遣申請」を必須とし、旅費・謝金等は本会の支給基準に準ずることとする。

5 その他

- (1) 2026 年度は認定申請時、直近の大会決算書の提出を必須とする。決算書の提出がない場合ランキングマッチの認定を行わない。
- (2) シニア大会について、アジア競技大会との調整のため 8 月・9 月のランキングマッチの実施はなしとする。
- (3) 出場（予定含む）選手・監督・コーチは、協会登録を 6 月 30 日までに登録を必須とする。

以上